

〈目次〉 一般質問 5議員が登壇



曾我部 秀司 議員 (13ページ)



- ◆待機児童解消に向けての取組は
- ◆義農大賞の応募状況と効果の公表は

藤岡 緑 議員 (14ページ)



- ◆「生理の貧困」への救済手段は
- ◆ヤングケアラーの実態と支援対策は
- ◆災害時における「液体ミルク」備蓄の考えは
- ◆通学路の再点検と対策の検討は

渡部 恵美 議員 (14ページ)



- ◆「人・農地プラン」の現状と課題は

影岡 俊範 議員 (15ページ)



- ◆下水道施策に基づく浸水対策は
- ◆地震対策としてのマンホールトイレ設置は
- ◆耐震性能が確保されていない下水道施設はあるのか
- ◆財政計画書作成支援ツールは活用しているか

西村 元一 議員 (15ページ)



- ◆はだか麦生産の方向性は
- ◆町全体の自転車道整備計画は
- ◆町の職員昇進試験の方法は
- ◆フジ松前店前の信号機設置への対応は



曾我部 秀司 議員

意見 将来、待機児童が解消されると行政としてはそれでよいであろうが、待機児童をかかえている家庭は、今、解消してほしい。行政は今、困っている町民に対して優先的に取り組むべきだ。

4月1日時点の本町の待機児童は5名。全て1歳児。保育士数だ

問 本町で待機児童が発生している原因は。

答 児童数は66人減少、入所申込み数は91人増加、母親の就労割合は16.6ポイント増加。母親の就業率の上昇が待機児童発生の主な原因と考えられる。

問 待機児童発生への責任はどこにあるか。

答 待機児童解消の責任は町にある。

問 9月5日現在の義農大賞応募件数は。

答 現在、5件で、うち1件は町内、ほか4件は県内からである。

問 義農大賞の目的のひとつに「松前町の全国的知名度向上」とある。この事業によるその効果を町民に知らせる必要がある。そのため全国的なアンケートが必要であるが、実施の考えは。

答 費用がかかるアンケートではなく、義農大賞



けでいうと1名増員していれば待機児童は解消していた。本気で解消すると考えているのであれば、年間750万円を保育士1名を採用していたはずだ。

意見 愛媛新聞の取材最新線「義農精神」の最後に「町の誇りである義農作兵衛の顕彰は、町・議会・住民が丸となって臨むべき取り組みだろう。」と。今回、可決されたとはいえ、賛否分かれた場合は、反対意見に一切耳を傾けなければ丸となることはできないだろう。

また「義農精神を反映した町政についても、大賞を通じて考える機会になることを願う。」と締めくくっていた。

公約より国や町の情勢のことを一番に考えることが重要である。町長の立場として義農精神を今以上に大切に、義農精神を反映した町政を切に願う。

また、義農精神、そして町民の声を反映した議会活動も切に願う。

ホームページやツイッター等の閲覧回数を目安にしよと考えている。

